

## 平成23年度 栄北高等学校・学校自己評価

目指す学校像	安心・充実の学校生活と生徒の夢の実現
--------	--------------------

NO. 1

学年・分掌	重点目標	評価項目	達成状況	達成度
総務部	・諸帳簿等の適正な管理	・諸帳簿の保存期間の適正管理を図る	学年末にファイリングをし、整理・整頓を行った	A
		・学校要覧の作成	編集途中、継続して作業行う	B
		・諸帳簿類のペーパーレス化を推進する	諸届、願出等を精選し、諸帳簿を簡略にした	A
	・保護者会活動の推進	・活動内容を積極的に発信する	学校通信、メール等で情報発信に努めた	A
		・行事への参加者増加を図る	参加者年々増加、好評のうちに実施できた	A
		・内容の改善を図り、更に充実する	実施内容を検討し、改善事項を次年度に生かした	A
	・学校行事の適正な実施	・実施した内容を精査し、内容を充実する	教育効果を考慮し、内容を精選した	A
		・実施記録保存と整理を行う	専用ファイルで年度別に保存	A
	・卒業生の動静調査	・卒業生の動静調査票の回収と整理をする	回収した動静調査票に基づいて名簿化する途中である	B
	教務部	・新教育課程実施に伴う準備	・新教育課程実施準備	新課程対策委員会発足、対処
・新課程に伴う教材の検討			各教科代表に指示	A
・教科書の販売方法の改善		・教科書購入の更なる改善	23年度生は人数多配布に配慮	A
		・時間割表の作成	演習の増えたが4月初めに、各教科代表が取り組み早く正規時間割が完成	A
・定期試験のスムーズな実施		・定期試験のスムーズな実施	土・日含む実施10日以上前発表	A
		・追試等のスムーズな実施	浸透しスムーズな2年目となる	A
・国際教育の奨励	・国際教育の奨励	震災のため思う活動できなかった	B	
進路指導部	・大学合格目標の達成	・早朝学習、放課後演習の充実	早朝学習は登校時間徹底できなかった。放課後は良好	B
		・国公立、GMARCH以上の合格者増	昨年度と比較し、合格者減	C
		・日東駒専の合格者増	昨年度と比較し、ほぼ横ばい	B
	・進学行事の充実	・進学行事内容を充実させる	特に問題なし	B
		・行事の精選、検討	一部の行事を減らし、精進できた	B
	・家庭学習の定着	・学年プラス1時間の家庭学習を行う	生徒間で差がある	B
		・モデルロードを十分活用する	定着してるがさらに活用させたい	B
学習指導部	・生徒の学力向上	・教員の指導力向上	研修会参加してるが向上なし	B
		・教材の精選	毎年反省してより良い教材採用	A
		・家庭学習の定着	ばらつきがあり、向上なし	B
	・模試の活用	・模試の精選	代ゼミと河合塾実施、問題なし	A
		・模試の結果分析	分析するが、向上されない	A
	・SKYシステムの活用	・常に更新を怠らない	更新してるが、活用されない	A
		・トラブルへの対応	特にトラブルなく問題なし	A
生徒指導部	・違反行為0件	・善悪の判断を身につける	ほぼ達成している	A
		・問題行動を減少させる	減少はしている	B
		・いじめ早期発見・早期解決	いじめ等は無い	A
	・交通事故0件	・自転車・歩行中の携帯電話 使用禁止	まだ見受けられる	B
		・自転車傘指し運転を無くす	学校付近無し、家庭ではある	B
		・交通法規を守る	交通事故件数は少なくない	B
	・服装・頭髪を正す	・学年指導の徹底	おおむね良好	A
		・教員の意識改革	良好	A
		・保護者との連絡を密にする	おおむね良好	B
	・欠席・遅刻を無くす	・担任指導の徹底	全体的には良好	A
		・遅刻カードの有効利用	雨天時遅刻が少し多い(バス遅れ)	B
・生徒の生活習慣把握		おおむね良好	B	

学年・分掌	重点目標	評価項目	達成状況	達成度
施設・環境部	・公用車管理	・定期点検実施	予定通り点検実施	A
		・安全管理	事故等問題なく安全管理した	A
	・環境美化	・環境衛生に関する点検実施	定期的に実施、ポリッシュで清掃	B
		・環境美化活動の実施	校内・外の美化活動を実施	B
	・防災	・防災訓練の実施	計画通り実施(9/5実施)	A
		・防災管理の定期点検実施	施設点検、不良箇所修理実施	A
・施設設備・備品管理	・良好な教育環境の確保	不具合、修理箇所その都度改善	A	
		・各教科ごとの備品管理体制	システムの準備完了、実動へ	A
募集広報部	・レベルアップ	・成績の向上	入学者、受験者成績向上した	A
		・人物重視	良好	A
事務	・事務業務の合理化	・業務分担の見直し等	業務を明確化し業務分担した	B
		・業務の合理化等	PC等有効活用し合理化した	B
	・節約	・節電、節水等	各期反省会で徹底した	A
・印刷用紙等の節約		裏紙利用、両面印刷等徹底	A	
第1学年	・基本的な生活習慣と態度の確立	・遅刻、欠席なく登校できたか	概ね良好、若干生徒指導必要	B
		・けじめある行動ができたか	指導に従う、主体的行動なし	B
		・服装、態度が適切であったか	概ね適切、若干継続指導必要	B
	・努力する姿勢の確立	・計画的に学習できたか	教師による働きかけが必要	C
		・集団に寄与できたか	集団を意識した生活に欠けた	C
	・信頼関係の確立	・前向きに生活できたか	努力認められるが十分でない	B
・生徒と教師の信頼関係が築けたか		概ね良好で教師を信頼して行動することができた	A	
・生徒同士の信頼関係が築けたか		概ね良好で協力して行動することができた	B	
		・保護者との信頼関係が築けたか	保護者と連携して、教育に当たることができた	B
第2学年	・学年目標「信頼」のもと生活指導、四者一体の連携を確立する	・挨拶、服装、髪指導の徹底	毎月の指導で成果をあげた	A
		・学年目標を具現化する為四者一体を確立する	二者面談、三者面談で相互の信頼を確立した	A
		・二者面談等通し、生徒の状況観察の徹底	同様に精神面で弱い生徒の対応を熱心に行った	A
	・学力、体力の養成(授業、部活動の両立と家庭学習の習慣化)	・家庭学習表を活用し、家庭学習の習慣化を図る	アンケート、クラスでの評価を見てもさらに努力が必要	C
		・定期テスト後のブラッシュアップで基礎力養成	左記の内容は各教科とも積極的に取り組んだ	A
		・演習授業や資格取得演習による応用力の養成	演習等も含め応用力については普通状態である	B
・生徒に目標を明確にさせ長所を理解させ将来の展望を持たせる	・進路説明会等による進路意識の覚醒	夏休み等を利用し、意識向上は行った	B	
	・演習、小論文指導等での向上心の育成	教員でチームを組み、各補習等では成果が出た	A	
	・三者面談を通した具体的な方向性の確立	明確な目標を持つ生徒もいるが、継続指導中	B	
・修学旅行を活用し、国際社会に対して見聞を広める	・集団行動、仲間の大切さ学ぶ	事故もなく有意義であった	A	
	・事前指導と関連学習により、英語文化圏の理解	現地では自由行動を多くし、語学力活用した	A	
	・実体験をもとにした国際社会との関わりをまとめる	日本と海外の違いについて帰国後まとめた	A	
第3学年	・基本的な生活習慣の確立	・挨拶の励行	概ね良好である	B
		・欠席、遅刻をしない	ごく一部の生徒は欠席等多かったが、概ね良好	B
	・大学合格目標の達成	・早朝学習、放課後演習充実	早朝学習は登校時間徹底できず。放課後は良好	B
		・国公立大、GMARCH以上の合格者増	昨年度と比較し、合格者減	C
		・日東駒専の合格者増	昨年度と比較し、ほぼ横ばい	B